

火災・救急・救助概要

平成24年



宝塚市消防本部

目 次

I 火災の概要

1	火災の発生状況	1
2	火災覚知種別の状況	4
3	火災覚知等から現場到着までの所要時間	4
4	初期消火状況	5
5	署所別火災発生状況	5
6	月別・時間別火災発生状況	6
7	出火原因	7
8	その他の出動状況	8
9	火災発生件数の推移	8

II 救急の概要

1	救急事故種別出場状況	9
2	傷病程度別搬送状況	10
3	署所別出場状況	11
4	医療機関別搬送状況	12
5	年齢区分別搬送状況	13
6	月別・曜日別出場状況	14
7	救急出場件数の推移	15

III 救助の概要

1	救助事故種別出場状況	16
2	発生場所別活動件数・救助人員状況	17

I 火災の概要

1 火災の発生状況

(1) 火災件数

平成24年中の火災の発生状況は表-1・2・3のとおりで、総件数は36件発生し前年と比較すると3件減少しました。

火災種別ごとでは、建物火災は26件で前年と比べ4件の増加、林野火災は1件で前年比2件の減少、車両火災は2件で前年比3件減少、その他の火災は7件で前年と比べて2件減少しています。

(2) 焼損棟数・面積等

建物火災での焼損棟数は、39棟で前年より12棟増加しました。

全焼棟数は5棟で前年比3棟増、半焼棟数は4棟で2棟増加、部分焼棟数は9棟で前年より2棟の増加、ぼや棟数は21棟で前年より5棟増加しました。

焼損面積等については、建物火災で発生件数、焼損棟数が増加したことから、焼損面積は808㎡で489㎡増加、焼損表面積は123㎡で98㎡増加しました。

林野火災は1アールの焼損、車両火災の焼損台数は2台で昨年より減少しています。

(3) 死傷者

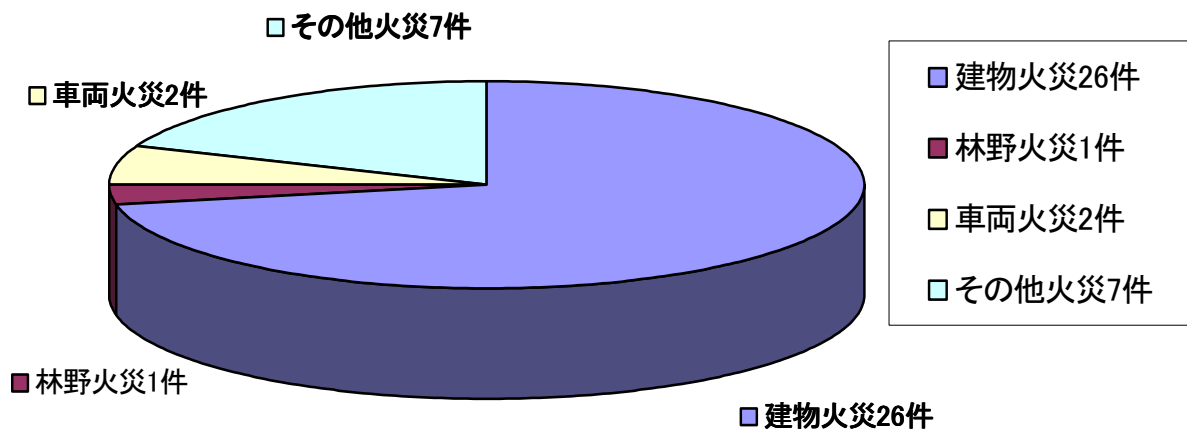
平成24年中の火災による死者（火災に起因する48時間以内の死者）は2名発生しています。（前年0人）

負傷者は9名発生し、前年と比べ5名増加しました。（内1名は30日死者）

【火災種別件数】

表-1

火災件数36件



【前年との対比1】

表-2

区 分		単 位	平成24年 (A)	平成23年 (B)	(A)-(B)=(C)
出 火 件 数			36	39	△ 3
火 災 種 別	建 物	件	26	22	4
	林 野		1	3	△ 2
	車 両		2	5	△ 3
	そ の 他 の		7	9	△ 2
焼 損 棟 数	合 計	棟	39	27	12
	全 焼		5	2	3
	半 焼		4	2	2
	部 分 焼		9	7	2
	ぼ や		21	16	5
爆 発 損 害 棟 数			0	0	0
焼 損 面 積	建 物	m ²	808	319	489
	建 物 表 面 積	m ²	123	25	98
	林 野	a	1	9	△ 8
	車 両	台	2	5	△ 3
り 災 世 帯 数	合 計	世 帯	31	20	11
	全 損		10	1	9
	半 損		1	1	0
	小 損		20	18	2
り 災 人 員		人	71	53	18

(注) △は減少を示す。平成24年数値は概算値を含んでおり、確定値ではありません。

【前年との対比2】

表-3

区 分		単 位	平成24年 (A)	平成23年 (B)	増 減 (A)-(B)=(C)
死 者			2	0	2
負 傷 者	30日死者	人	1	0	1
	重 症		1	0	1
	中 等 症		5	1	4
	軽 症		3	3	0
出 動 車 両	合 計	台	202	201	1
	消 防 署		202	178	24
	消 防 団		0	23	△ 23
出 動 人 員	合 計	人	712	731	△ 19
	消 防 署		712	629	83
	消 防 団		0	102	△ 102
建 物 火 災 一 件 当 たり	建物焼損面積	m ²	31.1	14.5	16.6
	焼 損 棟 数	棟	1.5	1.2	0.3
	り 災 世 帯	世帯	1.2	0.9	0.3
	り 災 人 員	人	2.6	2.4	0.2
林 野 火 災 一 件 当 たり	焼損面積	a	1	3	△ 2
出 火 率		件	1.6	1.7	△ 0.1

(注) ※ 火災により負傷した後48時間以内に死亡したものは火災による死者とし、負傷者のうちで火災に起因する原因により48時間を経過して30日以内に死亡した者を「30日死者」とする。

※ 出火率は人口1万人当たりの出火件数をいう。

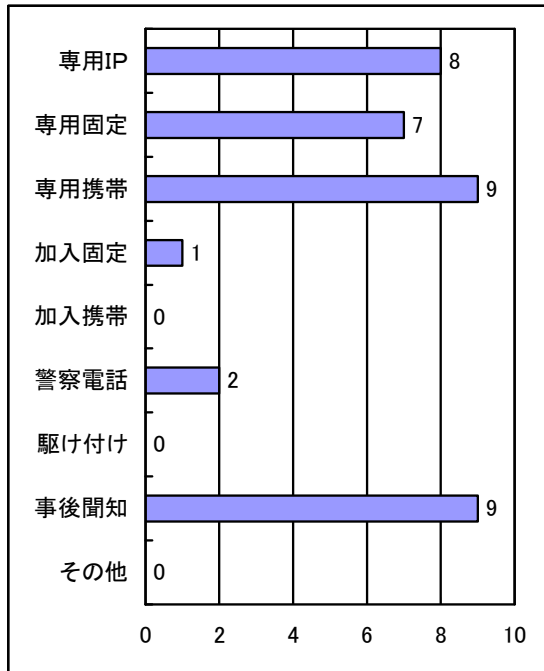
(平成24年12月現在 宝塚市推計人口228,297人)

※ △は減少を示す。平成24年数値は概算値を含んでおり、確定値ではありません。

2 火災覚知種別の状況

平成24年中に火災を通報する種別で最も多かったのは、携帯電話からの119番通報で9件でした。

表-4 【火災覚知種別状況】



専用IP⇒固定電話（NTT加入電話を除く）からの119番通報
 専用固定⇒固定電話（NTT加入電話）からの119番通報
 専用携帯⇒携帯電話からの119番通報
 加入固定⇒固定電話からの消防本部固定局への通報
 加入携帯⇒携帯電話からの消防本部固定局への通報
 警察電話⇒警察専用回線からの通報
 駆け付け⇒消防機関へ電話以外の方法で直接通報されたもの
 事後聞知⇒火災が消えた後に通報されたもの
 その他⇒上記以外の通報

3 火災の覚知から現場到着までの所要時間

平成24年中に発生した36件の火災から、事後聞知の火災9件を除いた27件の火災について、119番通報を受信してから、出動、現場到着までに要した時間の平均値は下表のとおりです。

表-5 【所要時間の平均値】

区分	覚知～出動	出動～現着	覚知～現着
全市域	0分53秒	4分22秒	5分15秒

※事後聞知を除く

4 初期消火状況

平成24年中に発生した36件の火災のうち、初期消火が行われたのは27件で、初期消火により火災が消火できたのは18件でした。

表—6 【初期消火の実施件数】

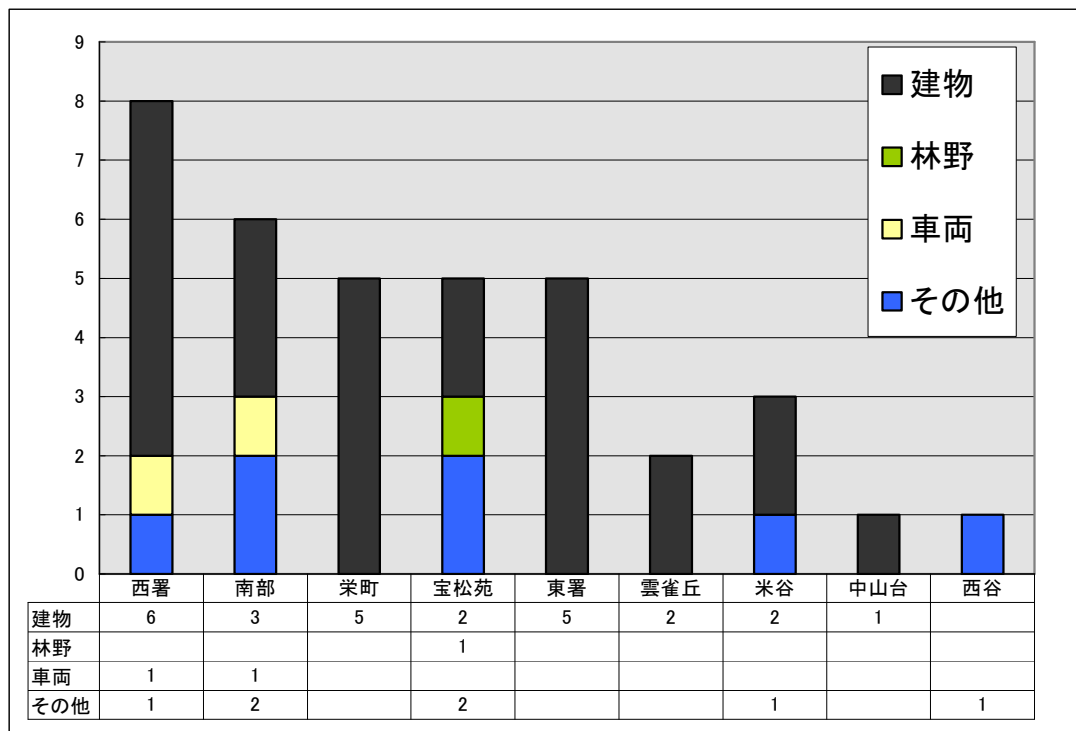
火災種別 【件数】	合計 【36件】	建 物 【26件】	林 野 【1件】	車 両 【2件】	そ の 他 【7件】
消火種別					
粉 末 消 火 器	7 (5)	4 (3)		1 (1)	2 (1)
水道、浴槽、汲み置き等の 水 を か け た	13 (8)	10 (6)			3 (2)
寝具、衣類等をかけた	4 (3)	3 (2)			1 (1)
も み 消 し た	1 (0)		1 (0)		
そ の 他	2 (2)	1 (1)			1 (1)
合 計	27 (18)	18 (12)	1	1 (1)	7 (5)

※（ ）内の数字は初期消火に成功した件数を示す。

5 署所別火災発生状況

各署所の管轄、受持地区内で発生した火災件数は表—7のとおりで、西署が最も多く8件発生しています。

表—7 【署所別火災発生件数】



6 月別・時間別火災発生状況

月別の火災発生状況は、1月、12月に多く発生しています。時間別発生状況では、9時から18時の間に20件発生し、全体の56%を占めました。

【月別・時間別火災発生件数】

表-8

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
建物	5	1	4	1	3	1	1	1		3	1	5	26	
林野										1			1	
車両				1					1				2	
その他の	2	1			1	1					2		7	
計	7	2	4	2	4	2	1	1	1	4	3	5	36	
0～1	1	1	1										3	5
1～2													0	
2～3			1						1				2	
3～4										1		1	2	3
4～5												1	1	
5～6													0	
6～7				1									1	2
7～8													0	
8～9			1										1	
9～10						2				1			3	6
10～11													0	
11～12	1				1					1			3	
12～13	1				1								2	5
13～14													0	
14～15				1				1			1		3	
15～16	1		1										2	9
16～17	1												1	
17～18	1	1			1						2	1	6	
18～19										1		1	2	4
19～20							1					1	2	
20～21													0	
21～22	1												1	1
22～23													0	
23～24													0	
不明					1								1	

7 出火原因

出火原因別では、たばこが8件で最も多く発生しています。

放火・放火の疑いは前年の11件から4件減少し、7件となっています。

表-9 【出火原因別火災件数】

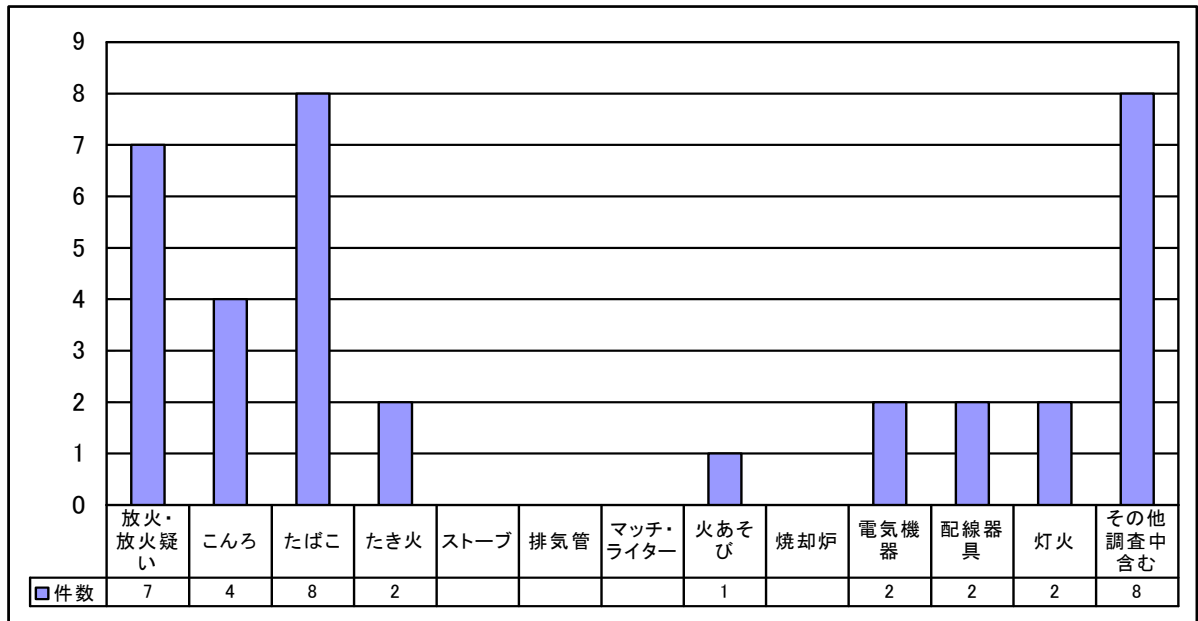


表-10 【火災種別毎の原因件数】

出火原因	合計	建物火災	林野火災	車両火災	その他の火災
放火・放火の疑い	7	3		1	3
こんろ	4	4			
たばこ	8	8			
たき火	2		1		1
ストーブ	0				
排気管	0				
マッチ・ライター	0				
火あそび	1				1
焼却炉	0				
電気機器	2	1			1
配線器具	2	2			
灯火	2	2			
その他調査中含む	8	6		1	1
合計	36	26	1	2	7

8 その他の出動状況

火災以外の災害等の出動状況は、表-11のとおり859件（前年882件）出場し、これは1日に約2.4件の割合で出動したことになります。

表-11 【その他の災害出動件数】

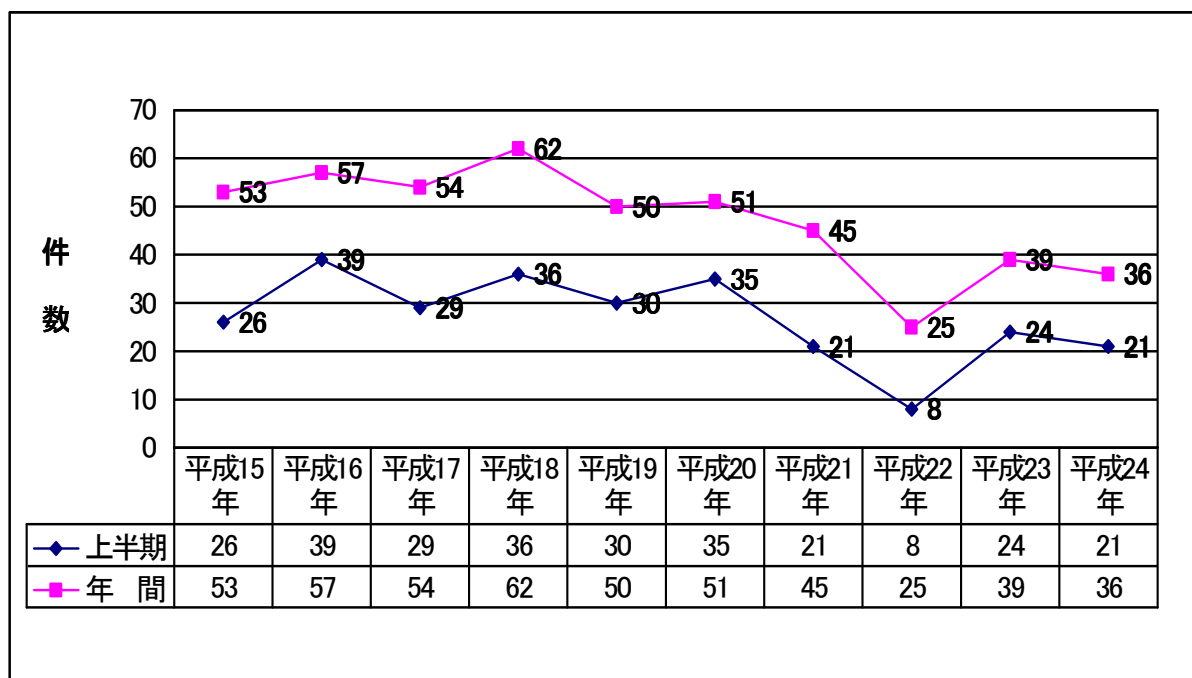
区分	合計	火災に至らず	誤報 誤認 虚報	防 災		警 戒	油流出	ガ ス 漏洩	特定 救急	他 市 応 援	捜 索	その他
				活動	巡視 警戒							
出動件数	859	20	22	25	80	265	51	2	323	49	1	21
出動台数	1,172	63	147	36	85	372	54	2	323	64	4	22
出動人員	4,473	225	507	129	313	1,396	211	8	1,331	249	14	90

※ 特定救急は、救急現場に消防車も同時出動することをいう。

9 火災発生件数の推移（過去10年間）

火災の発生件数は36件で、対前年3件減少しました。過去10年間の発生の推移をみると50件を越えたのが、平成15年から平成20年までであり、平成18年は60件台を超えていましたが、平成22年は、昭和32年以来51年ぶりの20件台を記録しました。

表-12 【火災発生件数の推移(過去10年間)】



Ⅱ 救急の概要

1 救急事故種別出場状況

平成24年中の救急出場件数は9,965件で、前年に比べ710件(7.7%)増加しました。これは、市内で1日平均27.3件の割合で救急出動したことになり、前年に比べ1.9件の増加となりました。

事故種別では、急病、一般負傷、交通事故が全体の89.1%を占め、特に急病は、62.9%を占めています。

表-1 【前年との対比1】

区 分	平成24年 A	平成23年 B	増 減 A - B = C	増減率% (C/B) × 100
出 場 件 数	9,965	9,255	710	7.7
傷病者搬送件数	8,557	8,071	486	6.0
不搬送件数	1,408	1,184	224	18.9
火 災	35	38	△ 3	△ 7.9
自 然 災 害	1	0	1	0
水 難	1	3	△ 2	△ 66.7
交 通	821	760	61	8.0
労 働 災 害	60	48	12	25.0
運 動 競 技	19	32	△ 13	△ 40.6
一 般 負 傷	1,781	1,658	123	7.4
加 害	64	60	4	6.7
自 損 行 為	95	101	△ 6	△ 5.9
急 病	6,273	5,846	427	7.3
転 院 搬 送	703	637	66	10.4
医 師 搬 送	0	0	0	0
医 療 資 器 材	0	0	0	0
そ の 他	112	72	40	55.6
1 日 平 均	27.3	25.4	1.9	7.7
発 生 率	436.5	407.5	29.0	7.1
入電～現場到着	7分00秒	7分21秒	△ 21秒	△ 4.8
入電～病院到着	34分10秒	35分16秒	△ 1分6秒	△ 3.1

△は、減少を示す。

※ 発生率については、人口1万人当たりとする。(宝塚市推計人口228,297人・平成24年12月)

2 傷病程度別搬送状況

平成24年中の病院への搬送人員は8,616人で、市民26.5人に1人が救急車で運ばれたこととなります。

また、死亡、重症、中等症の傷病者の割合は49.5%、入院の必要なしと診断された軽症の傷病者にあつては4,353人で50.5%を占めている。

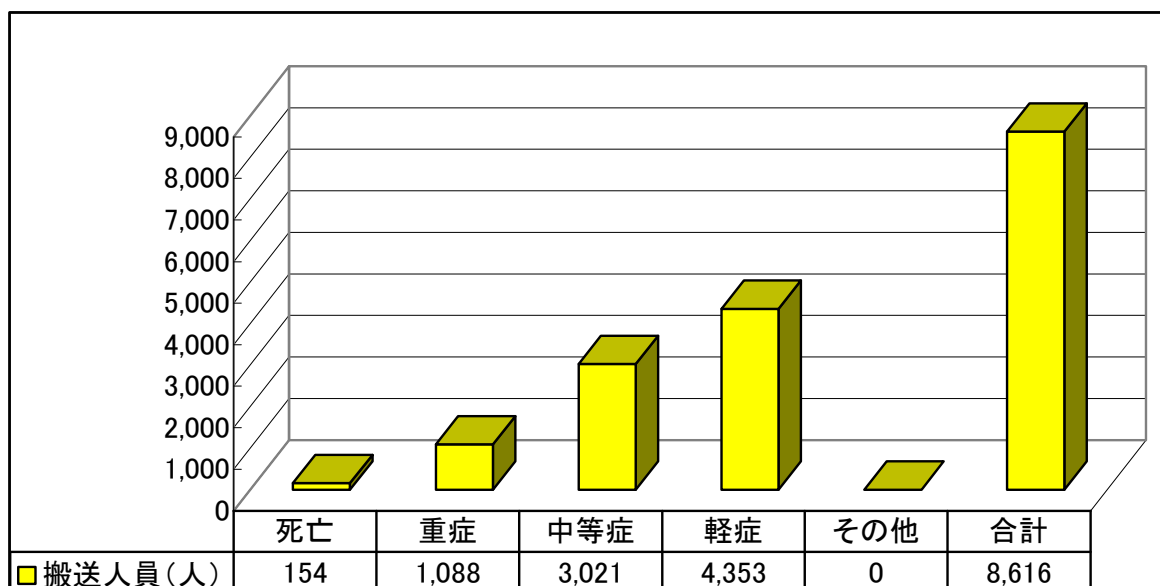
表-2-1 【前年との対比2】

区 分	平成24年 A	平成23年 B	増 減 A - B = C	増減率% (C/B) × 100	傷 病 程 度					合 計
					死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	
搬送人員	8,616	8,129	487	6.0	154	1,088	3,021	4,353	0	8,616
火 災	10	5	5	100.0	0	2	5	3	0	10
自然災害	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1
水 難	1	2	△ 1	△ 50.0	1	0	0	0	0	1
交 通	745	694	51	7.3	1	45	119	580	0	745
労働災害	56	50	6	12.0	0	6	15	35	0	56
運動競技	18	32	△ 14	△ 43.8	0	0	3	15	0	18
一般負傷	1,537	1,519	18	1.2	19	246	318	954	0	1,537
加 害	51	47	4	8.5	0	1	3	47	0	51
自損行為	56	68	△ 12	△ 17.6	7	6	23	20	0	56
急 病	5,436	5,073	363	7.2	125	542	2,133	2,636	0	5,436
そ の 他	705	639	66	10.3	1	240	402	62	0	705

※ △は、減少を示す。

※ 傷病程度欄のその他は、転院搬送のためヘリコプターへの搬送を示す。

表-2-2 【傷病程度別搬送人員】



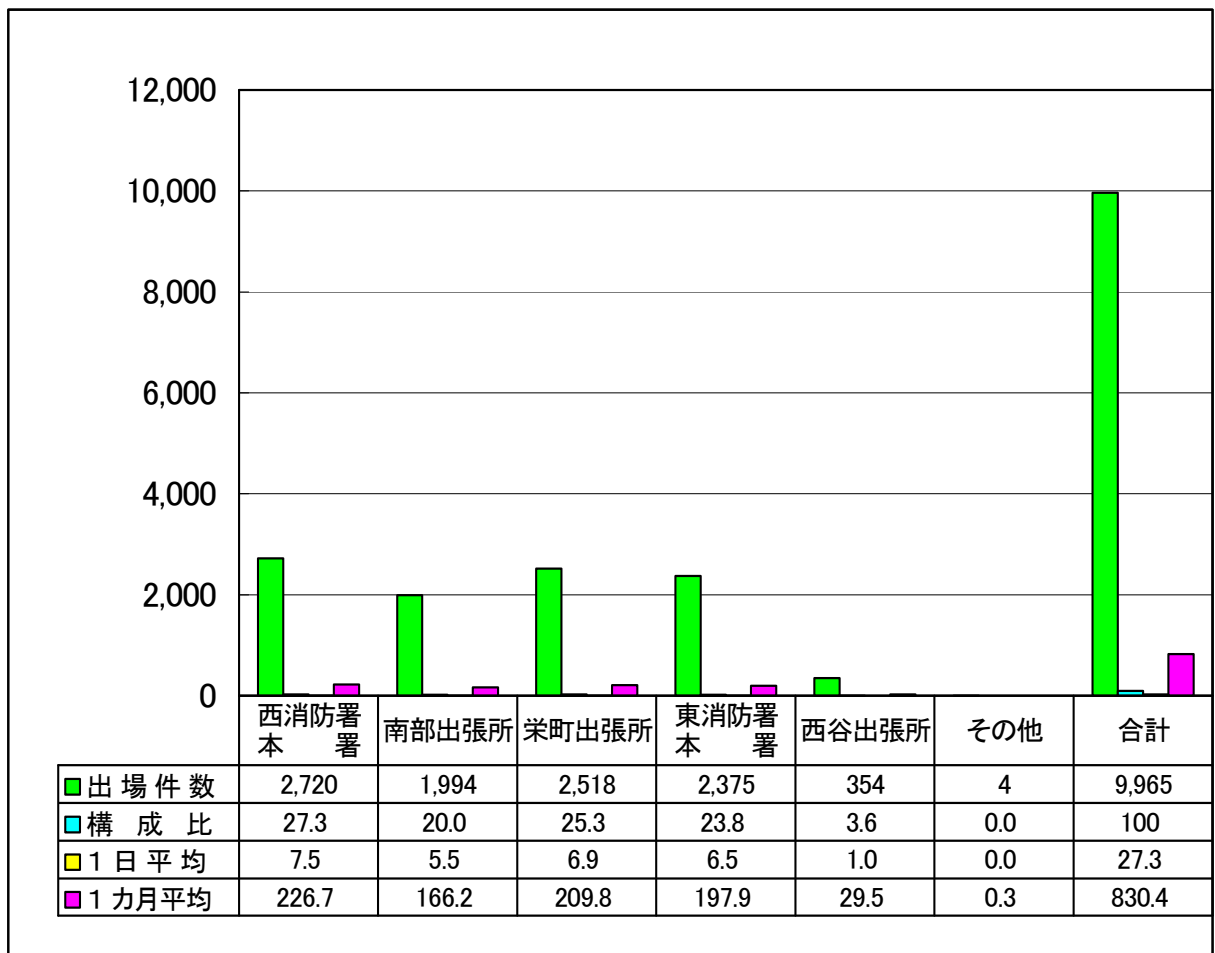
3 署所別出場状況

総出動件数9,965件のうち、西消防署（南部出張所・栄町出張所含む）が7,232件（72.6%）、東消防署が（西谷出張所含む）2,729件（27.4%）、その他（イベント警備中）が4件出場している。

表-3-1 【署所別出動件数1】

区 分	合 計	西 消 防 署				東 消 防 署			その他
		小 計	本 署	南 部 出 張 所	栄 町 出 張 所	小 計	本 署	西 谷 出 張 所	小 計
出 場 件 数 (件)	9,965	7,232	2,720	1,994	2,518	2,729	2,375	354	4
構 成 比 (%)	100.0	72.6	27.3	20.0	25.3	27.4	23.8	3.6	0.0
1 日 平 均 (件)	27.3	19.8	7.5	5.5	6.9	7.5	6.5	1.0	0.0
1 カ月平均 (件)	830.4	602.7	226.7	166.2	209.8	227.4	197.9	29.5	0.3

表-3-2 【署所別出動件数2】



4 医療機関別搬送状況

搬送状況を収容医療機関別に区分すると、搬送人員の88.6%を占める7,632人が救急告示病院に搬送され、983人がその他の医療機関に、1人がその他の場所に搬送された。

また、市内の救急告示病院への搬送人員は5,746人で全体の66.7%を占め、その他の医療機関を含めると5,909人となり市内へは68.6%が搬送されたことになる。

※ その他の場所は、診療のため接骨院へ搬送及び医療機関へ収容目的でヘリポートへ搬送した人数をいう。

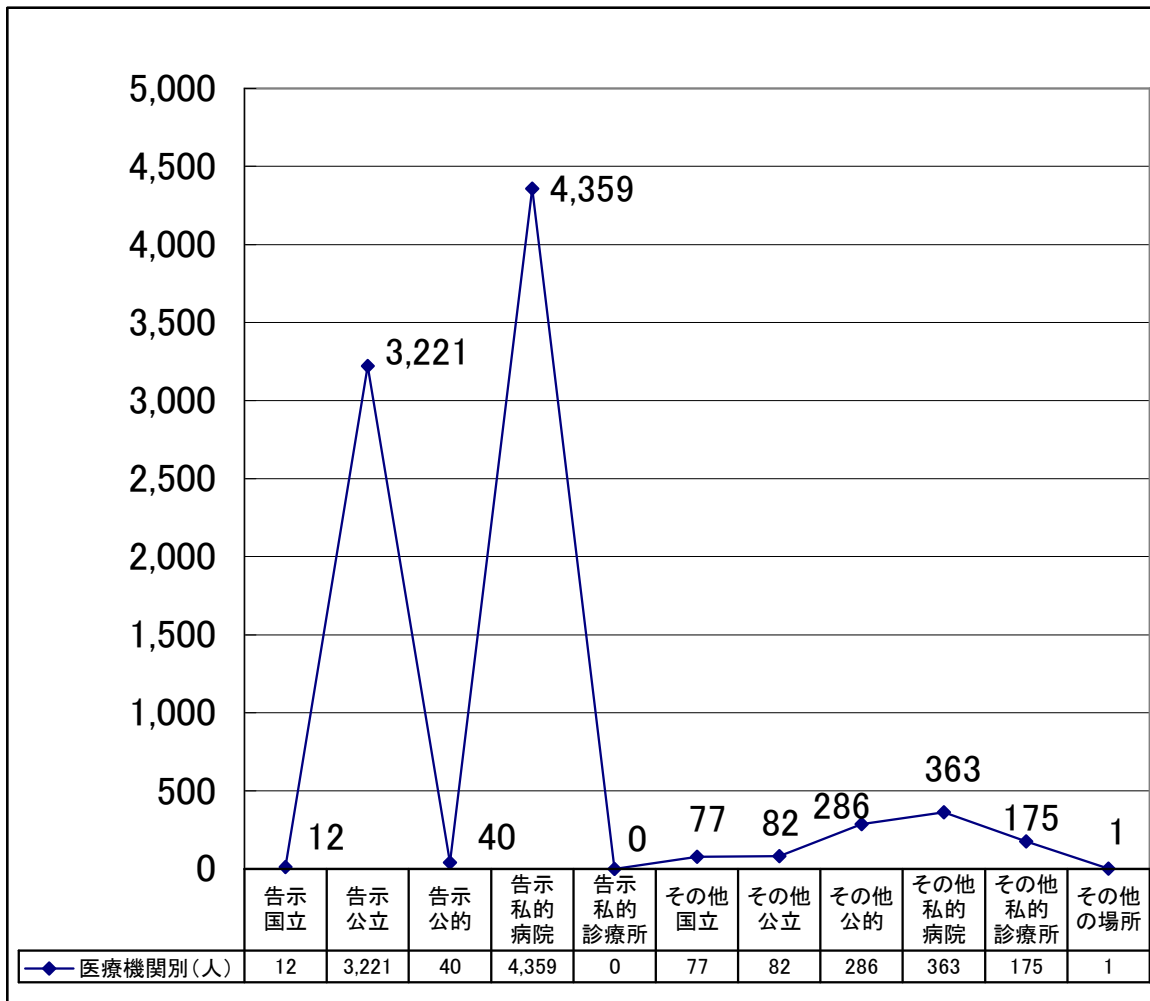
表-4-1

【医療機関別搬送状況1】

区分	救急告示医療機関					その他の医療機関						その他の場所	合計(人)	
	国立	公立	公的	私的		国立	公立	公的	私的		計			
				病院	診療所				病院	診療所				
市内	0	2,388	0	3,358	0	5,746	0	0	0	0	162	162	1	5,909
市外	12	833	40	1,001	0	1,886	77	82	286	363	13	821	0	2,707
合計	12	3,221	40	4,359	0	7,632	77	82	286	363	175	983	1	8,616

表-4-2

【医療機関別搬送状況2】



5 年齢区分別搬送状況

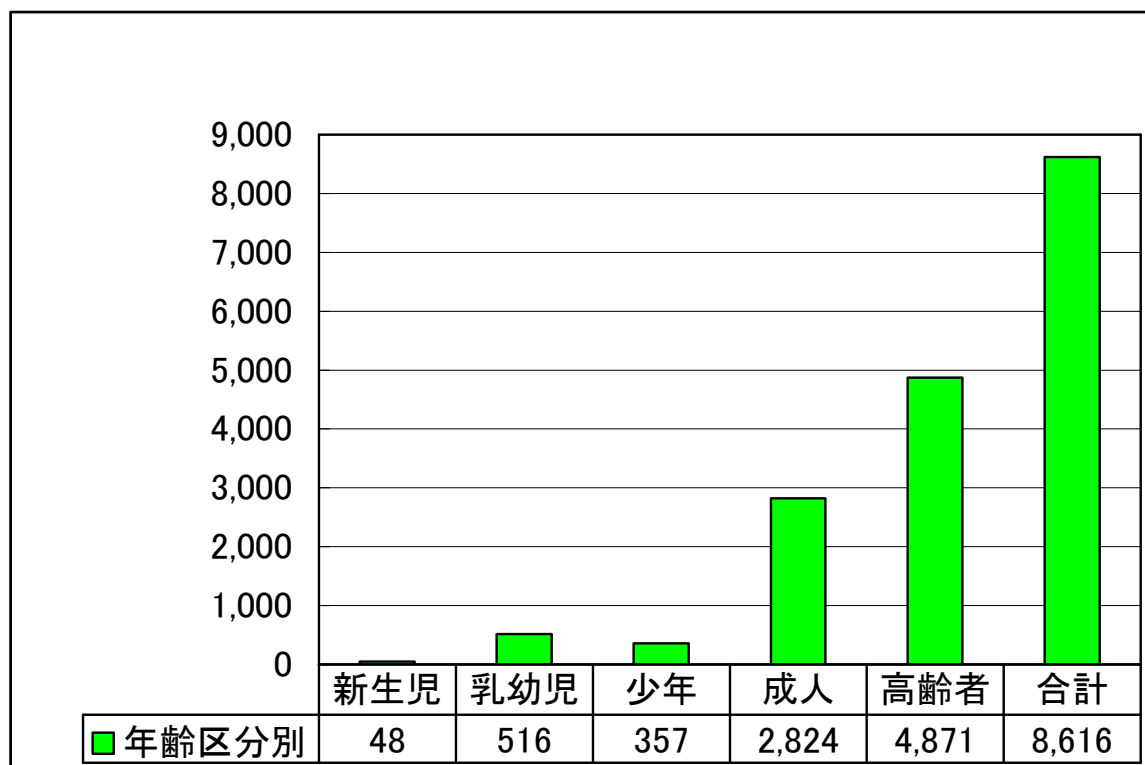
年齢区分別にみると、高齢者が4,871人(56.5%)、成人が2,824人(32.8%)乳幼児が516人(6%)、少年が357人(4.1%)、新生児48人(0.6%)となっている。

高齢者の搬送割合が高く、高齢者の急病は、3,306人で、高齢者全体の搬送のうち67.9%を占める。また、高齢者の一般負傷についても他の年齢区分から比較すると高い値となっている。

表-5-1 【年齢区分別搬送状況1】

区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
新生児	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	45	48
乳幼児	0	0	0	21	0	0	152	0	0	308	35	516
少年	1	0	0	92	0	10	82	5	1	152	14	357
成人	5	1	0	492	45	8	300	37	44	1,668	224	2,824
高齢者	4	0	1	140	11	0	1,002	9	11	3,306	387	4,871
合計	10	1	1	745	56	18	1,537	51	56	5,436	705	8,616

表-5-2 【年齢区分別搬送状況2】



6 月別・曜日別出場状況

月別出場件数は、1月が899件、11月が894件、12月963件と多く、他の月は、700件台から800件台で推移しています。

曜日別では、月曜日、金曜日、日曜日が多く出勤している。

表-6-1

【月別出勤件数】

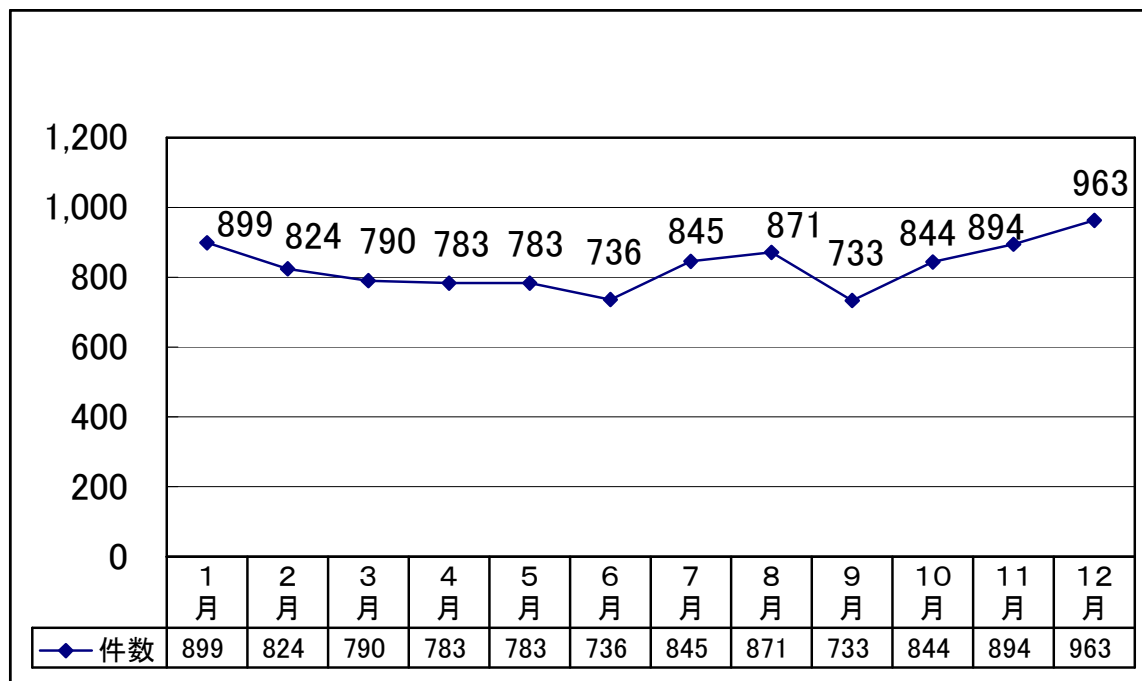
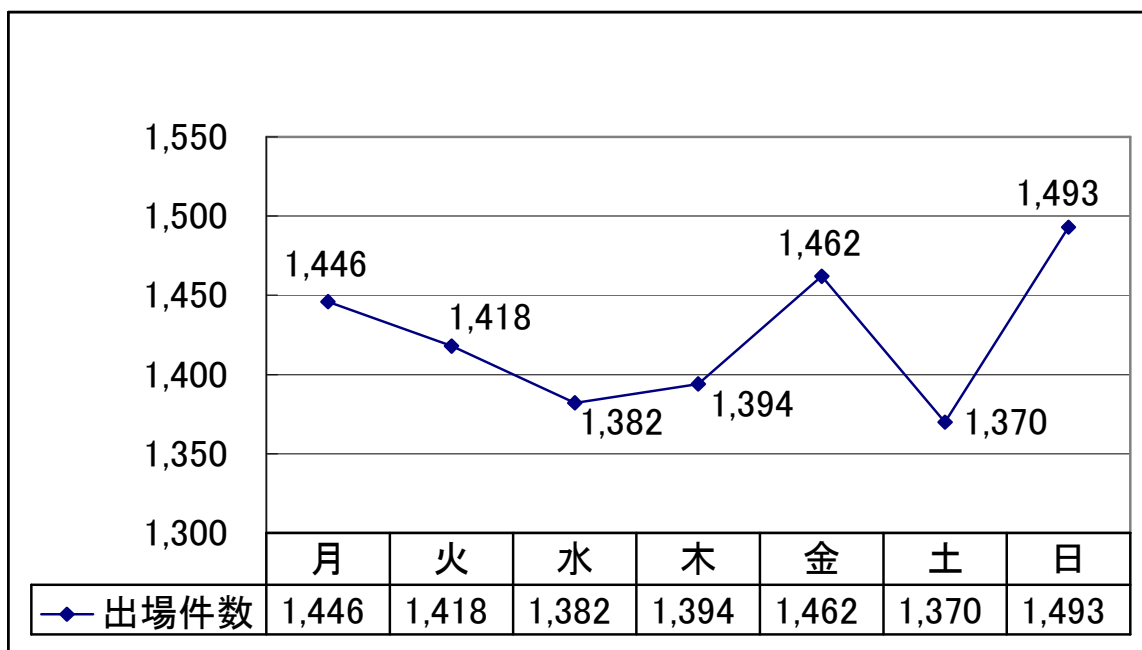


表-6-2

【曜日別出勤件数】

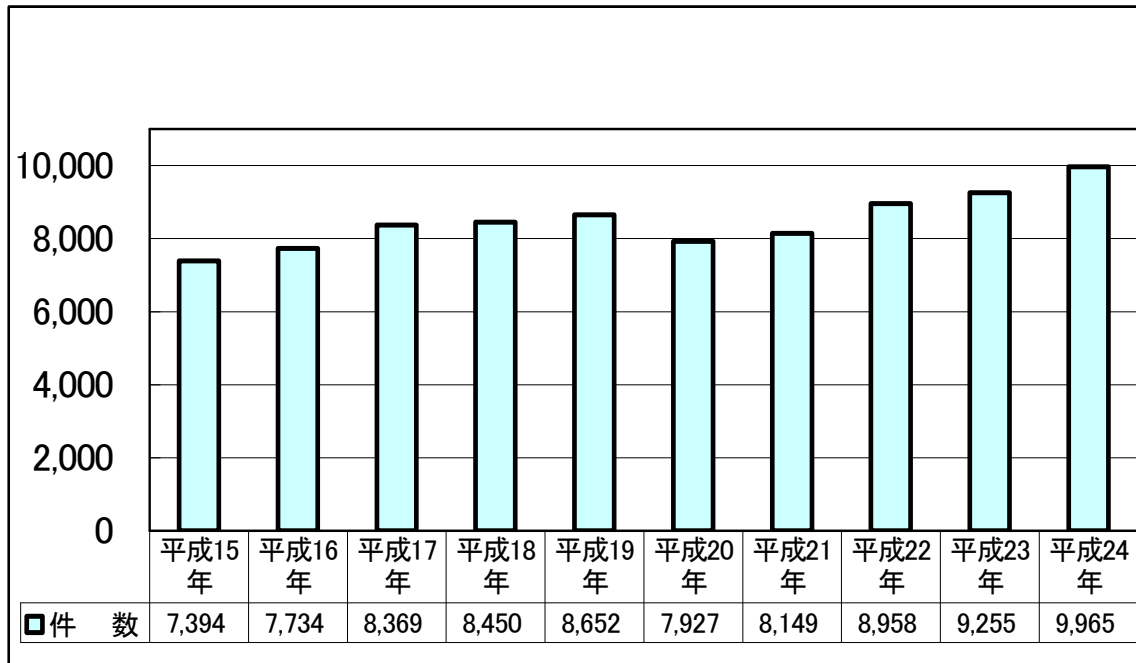


7 救急出場件数の推移

平成15年から平成19年までの5年間で、1,258件増加していた救急件数が、平成20年には725件の減少となったが、平成21年にはふたたび増加し、平成24年は気温の急激な変化の影響要因からか1月、12月の高齢者の搬送件数が多く、過去最高の出場件数となりました。

表-7-1

【救急出動件数の推移(過去10年間)】



救急出動件数の多くを占める、急病、交通事故、一般負傷の過去10年の推移は下表-7-2のとおりである。

表-7-2

【急病・交通事故・一般負傷の出動件数(過去10年間)】

	急病	交通	一般	その他
平成15年	4,629	832	1,079	854
平成16年	4,811	809	1,260	854
平成17年	5,307	822	1,388	852
平成18年	5,288	815	1,409	938
平成19年	5,458	868	1,399	927
平成20年	4,920	789	1,333	885
平成21年	5,177	751	1,372	849
平成22年	5,689	776	1,551	942
平成23年	5,836	760	1,664	995
平成24年	6,273	821	1,781	1,090

※ その他とは、火災、労働災害、運動競技、加害、自損行為、転院搬送及びその他の出動件数を示す。

Ⅲ 救助の概要

1 救助事故種別出動状況

平成24年中の救助件数は、157件で、前年に比べ61件の増加となりました。前年と比べ救助出動件数・救助活動件数・救助人員、全てにおいて増加している。

また、救助件数全体の1カ月平均も昨年の8.0件から13.1件と急増傾向である。

事故種別ごとの救助出動件数を見ると、その他の事故・建物等による事故・交通事故による事故が主な出動となっています。

表-1-1 【前年との対比】

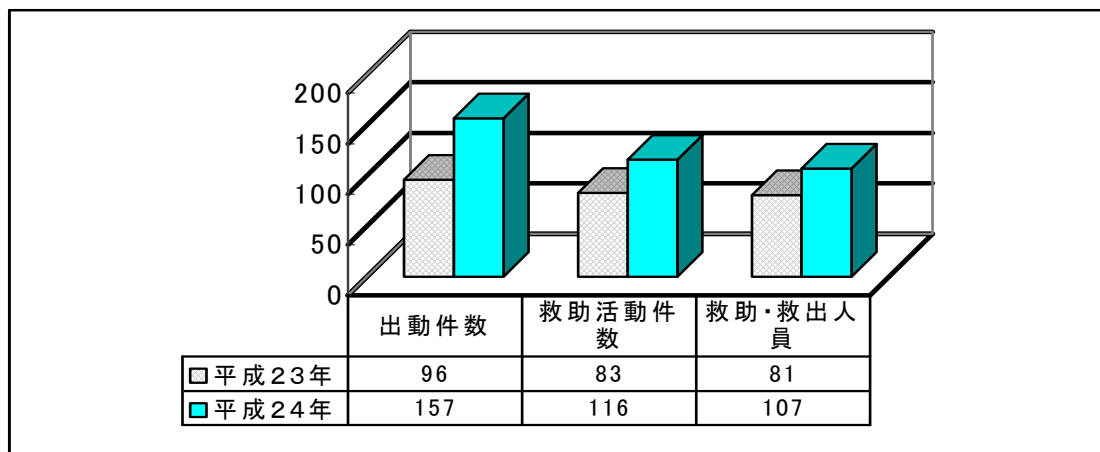
区 分	平成24年 (A)	平成23年 (B)	増 減 (A)-(B)=(C)	増減率 % (C/B)×100	
出 動 件 数	157	96	61	63.5	
活 動 件 数	116	82	34	41.5	
救 助 人 員	107	81	26	32.1	
出 入 動 員	救 助 隊 専 任	382	217	165	76.0
	救 助 隊 兼 任	371	200	171	85.5
	消 防 隊	1031	603	428	71.0
	救 急 隊	500	282	218	77.3
火 災	建 物	3	1	2	200.0
	建 物 外	0	0	0	0.0
交 通 事 故	24	16	8	50.0	
水 難 事 故	5	2	3	150.0	
風 水 害 等 自 然 災 害	0	0	0	0.0	
機 械 に よ る 事 故	2	1	1	100.0	
建 物 等 に よ る 事 故	58	34	24	70.6	
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	0	0	0	0.0	
爆 発 事 故	0	0	0	0.0	
そ の 他 の 事 故	65	42	23	54.8	
1 力 月 平 均	13.1	8.0	5.1	63.8	
発 生 率	6.9	4.2	2.6	61.5	

(注) ※ 発生率については、人口1万人当たりとする。

(宝塚市推計人口228,297人・平成24年12月現在)

※ △は、減少を示す。

表-1-2 【救助出動・活動件数及び救助・救出人員】



2 発生場所別活動件数・救助人員状況

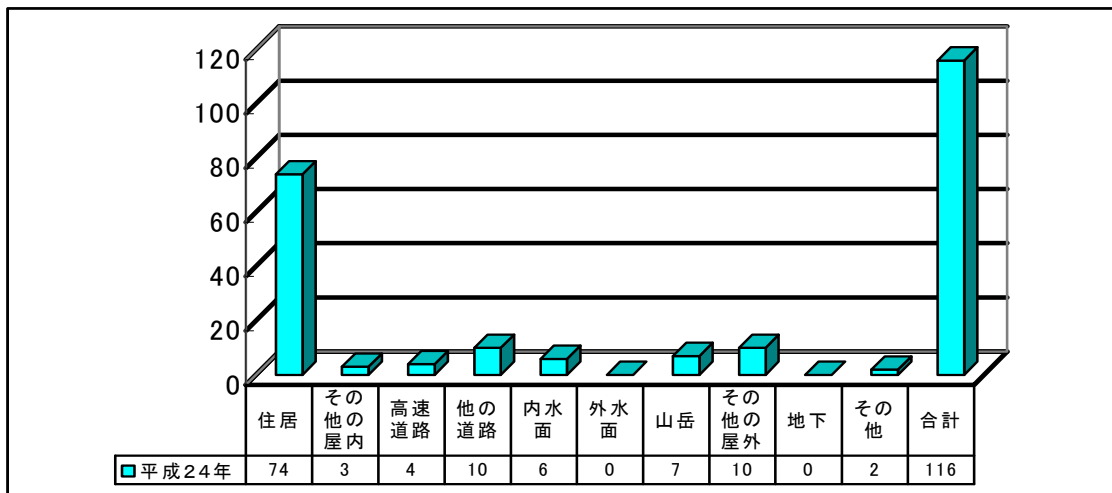
発生場所別活動状況は住居内で発生した救助活動件数が50件と昨年の33件と比べ急増し救助活動全体の約43%を占めている。

また、その他の事故活動件数も昨年より増加しているものの、救助人員は減少している。

区分		活動件数	屋内		屋外				地下	その他		
			住居	その他の屋内	道路		水面				山岳	その他の屋外
					高速道路	他の道路	内水面	外水面				
火災	建物	3 7	3 7									
	建物以外											
交通事故		12 15			4 5	8 10						
水難事故		4 4					4 4					
自然災害												
機械による事故		2 2		1 1						1 1		
建物等による事故		51 48	50 47	1 1								
ガス及び酸欠事故												
爆発事故												
その他		44 31	21 10	1 1		2 2	2 2		7 6	9 8	2 2	
合計		116 107	74 64	3 3	4 5	10 12	6 6	0 0	7 6	10 9	0 2	

表-2-2

【発生場所別活動件数】





つけていますか？

住宅用火災警報器を

Takarazuka Fire Dept.

宝塚市インターネットホームページ <http://www.city.takarazuka.hyogo.jp>